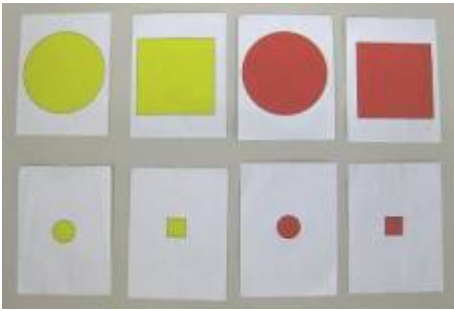


B-1 自立活動との関連

◆ スリーヒントゲーム

出題者に質問をしながら、出題者が選んだカードを当てるゲームである。出題者は質問に対して「はい」か「いいえ」で答える。どんなカードか言葉で表すとともに、相手に伝わるように話したり、しっかり聞いて答えたりしなければゲームが進行しないため、楽しみながらコミュニケーション能力を育むことができる。


国語科の学習と関連させるために、使用するカードは、段階的に単純な図形から動物の絵に発展させ、「～は、…ですか」という文を使って質問できるようにした。



赤ですか？

大きいですか？

丸ですか？



首輪は、黄色ですか？

しっぽは、短いですか？



いいえ

はい

毛は、白と黒ですか？



◆ さわってさがそう！

箱の中のものを触り、「ふさふさ」「べたべた」など、出題者が指定したものを探すゲームをした。興味・関心をもって、体験的に語彙を増やすことができた。



「ふさふさ」は
どれかな？